

別海町 農業委員会 だより

第17号

令和8年4月



主な内容

- P2 会長挨拶、別海町賃借料情報
- P3 R8総会日程、農業者年金「現況届」を提出しましょう
- P4~5 別海町で頑張る新規就農者・後継者の紹介
- P6 農業委員会活動報告
- P7 農業委員の素顔
- P8 農業委員の募集について、農業委員活動日記、広報委員編集後記

上春別の矢島行さん・鮎美さんご夫妻
→関連記事はP4に掲載





新年度のご挨拶

別海町農業委員会

会長 信 夫 重 勝

農業委員会だより第17号の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

皆様には、農業委員会活動に對しまして、深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

農業を取り巻く環境は、乳価が引き上げられるなど明るい兆しも見えてきておりますが、依然として飼料・肥料などの生産資材の高止まり、円安等による建築資材・農業機械等の高騰など農業経営の厳しさは依然として解消できていない状況です。

一方、「食料・農業・農村基本法」に基づき、改正されました「食料・農業・農村基本計画」は、初動5年間で農業の構造転換を集中的に推し進めることとされており、必要な予算、農産物の再生産可能な価格の形成、生産性や付加価値の向上により農業の持続的な発展を図ることなども計画されており、安心して農業を継続できる体制が確立されることを期待しております。

令和8年の干支は、60年に一度の丙午（ひのえうま）です。丙午は、火のエネルギーに満ち溢れていることから、情熱、活力、改革の年と云われております。本年、農業委員の任期満了に伴う改選にあたっては、青年・女性を含め情熱と活力を持った皆様の募集をお待ちしております。

当委員会は、農業委員会の主たる使命であります農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止、新規参入の促進を図り、耕地面積日本一を誇る食料生産基地として、地産地消の根幹である農地を守り、わが町の農業発展、農業現場における課題解決のため、引き続き町やJAなど関係機関と十分な連携を図り、農業者の所得向上に取り組んでまいります。

結びに、皆様の健勝とご多幸を祈念しますとともに、今後も当委員会へのご理解とご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

陽春

（推進委員は議席番号順）

会長 信 夫 重 勝
会長職務代理 加藤 真純

【別海推進委員会】

委員長 山田 良雄
副委員長 小島 敏
推進委員 加藤 祐介

【中春別推進委員会】

委員長 芳賀 均
副委員長 畠山 友子
推進委員 石森 裕治

【西春別推進委員会】

委員長 大内 敏光
副委員長 木幡 誠
推進委員 佐々木 實

【上春別推進委員会】

委員長 羽石 健一
副委員長 石毛 剛
推進委員 岸本 正明

〃 〃 〃
〃 〃 〃
〃 〃 〃
信夫 重勝

令和7年1月から12月までに締結（公告）された農地法及び農業経営基盤強化促進法による賃貸借における賃借料水準（牧草畑の1haあたり）は、下記のとおりです。

賃借料情報

地域区分	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
別海	19,513円	30,000円	10,000円	19件	別海、中西別、上風連、奥行、本別海、走古丹
西春別	26,981円	47,619円	5,325円	36件	西春別、泉川、矢臼別
中春別	23,042円	35,000円	5,053円	32件	中春別、豊原、美原、床丹、尾岱沼、野付
上春別	28,883円	38,000円	23,256円	14件	上春別、本別、大成

※地域区分は、別海町農業委員会区域内の各推進委員会区分。

知らないと損！ 農業者年金で税金対策を！ 詳しくは、こちら ⇒



令和8年度 別海町農業委員会総会開催予定日・申請受付日程

★農地の権利移動、農地転用などの各種申請に対する締切日は原則下記のとおりです。

開催月	申請書類締切日	現地調査日	総会開催日	開催月	申請書類締切日	現地調査日	総会開催日
4月	4月9日(木)	4月16日(木)	4月30日(木)	10月	10月8日(木)	10月16日(金)	10月29日(木)
5月	5月7日(木)	5月14日(木)	5月28日(木)	11月	11月2日(月)	11月9日(月)	11月19日(木)
6月	6月2日(火)	6月8日(月)	6月18日(木)	12月	12月7日(月)	※	12月23日(水)
7月	7月8日(水)	7月15日(水)	7月31日(金)	1月	1月12日(火)	※	1月28日(木)
8月	8月6日(木)	8月18日(火)	8月31日(月)	2月	2月9日(火)	※	2月26日(金)
9月	9月3日(木)	9月10日(木)	9月29日(火)	3月	3月8日(月)	※	3月24日(水)

※現地調査とは、農地の貸借及び売買等、並びに農業用施設及び住宅建設の申請があった場合、農業委員による現地や計画内容等の確認を実施する調査のことです。(現地調査をしていない場合、許可書の交付ができません)
 ※農地法第3条による許可申請(農地の貸借及び売買等)は、航空写真等による現地調査が可能となったことから、冬期間におきましても受け付けます。
 ※農地の転用及び現況証明に伴う12月～3月の現地調査は、早期に調査が必要な場合に限り実施するもので、積雪がなく調査地全体が確認できることと、調査当日の天候により中止となる場合があることをご承諾いただけることが条件となります。



※上記日程は、都合により変更する場合があります。
 最新情報は、別海町ホームページよりご確認ください。

農業委員会事務局に来所される皆さまへ(お願い)

農業委員会事務局へ手続きや相談で来所される際は、お待たせしないよう、あらかじめ下記の各担当までご一報いただき、予約したうえで来所くださいますようお願いいたします。
 電話予約がなくても随時受け付けいたしますが、担当者不在等で当日受付できない場合やお客様をお待たせすることもありますので、皆さまのご協力をお願いします。

- 受付時間
- 農地の転用に関する事
- 農地の賃借、売買、あっせんに関する事
- 農地所有適格法人に関する事
- 農業者年金に関する事

平日8:45～17:30まで
 TEL 0153-74-9852
 TEL 0153-74-9852
 TEL 0153-74-9852
 TEL 0153-74-9853



農業者年金を受給している皆様へ

農業者年金の「現況届」を提出しましょう!!

農業者年金を受給している方は、毎年5月末頃に東京の農業者年金基金から緑色の封筒に入った「現況届」が送付されます。この現況届は、毎年6月末までに農業委員会に提出しなければならない書類です。提出が確認できない場合は、**年金が支給停止**となりますので、必ず提出してください。



別海町で頑張る

新規就農者・後継者の紹介

- ①就農年月 ②就農のきっかけ ③出身地 ④家族構成
 ⑤休日の過ごし方・楽しみ方 ⑥農業の魅力 ⑦農業経営でご苦労されたこと
 ⑧将来の夢や今後の抱負 ⑨最近感じた「ちょっと嬉しい」出来事

新規就農者

矢嶋 行さん(39歳)・鮎美さん(34歳)

上春別推進委員会から
新規就農者紹介

- ①令和5年9月
 ②サラリーマン時代に色々な牧場に伺う機会があり、こんな働き方があるのか!!と稲妻に打たれたような感覚がした。
 ③埼玉県
 ④本人、妻、長男、二男、三男
 ⑤息子達の部活動を推し活としています！
 ⑥作物に比べて、畜産は天候の影響を受けにくいという事が1つ。家族で一緒に働けるのも大きな魅力だと感じます。

- ⑦機械のメンテナンスや施設の管理。牛の脱走事件も苦労の1つでした。
 ⑧日本の和牛を世界に!!
 ⑨パークゴルフ大会でのホールインワン賞！

取材：岸本広報委員

新規就農者

久保 拓己さん(30歳)

中春別推進委員会から
新規就農者紹介

- ①令和7年4月
 ②夫婦とも動物好きで、自分達でエサ作りから経営まで行える酪農の魅力にひかれたから。
 ③三重県、妻（大阪府）
 ④本人、妻、長女
 ⑤家族でのお出掛け、外食
 ⑥自身の努力が結果（収入など）に直結するところ。手間暇をかけるほど乳量、繁殖、乳質の向上に繋がるところ。

- ⑦収穫面積が少ないこと。育成舎、乾乳舎、仔牛のハッチなど設備が少ないこと。
 ⑧できるだけ早く経営を安定させ、その後は低体細胞を維持し、長命連産の営農を目指したい。
 ⑨牛乳を初出荷し収入を得られたこと。搾乳時に嫌がって大暴れする牛がいないこと。

取材：猿谷広報委員

坂野下 貴志さんの後継者

坂野下 舞奈さん(31歳)

別海推進委員会から
後継者紹介

①令和4年4月

②家族の酪農を守りたい、牛への恩返しをしたいという思いから就農を決めました。

本来は弟が継ぐ予定でしたが、それが難しくなったときに「じゃあ自分がやるかな」と自然に思えました。

小さい頃から牛に囲まれて育ち、牛が家族の生活も、私自身の成長も支えてくれました。だからこそ、今度は私が牛のためにできることをしたい。その気持ちが今の私の原点になっています。

③別海町

④本人、父、母、祖父、祖母、弟（大阪在住）

⑤家でのんびりゲームしたり、近隣のカフェでまったり過ごしたりすることが多いです。

⑥正直に言うと牛と関わること自体は嫌いではないのですが、酪農は休日がほとんど無いので、日々の仕事は負担に感じることはあります。

だからこそ、今の自分には酪農業の魅力を強く語れるほどの実感はありません。ただ、地域や社会にとって酪農が大切な産業であることは理解しているので、学びの過程でその魅力を少しずつ見つけていけたらと思っています。現場の厳しさを知ることも含めて、学び続ける姿勢をもちたいです。

⑦これから従業員を雇用することを考え、従業員が安心して働くことのできる牧場を作ることです。働き方の多様性を広げ、自分自身も含めて誰もが働きやすい仕組みを整えていきたいと思っています。また、前職で特別支援学級の担任をしていた時に、様々な個性や特性をもつ子どもたちが将来就職先が限定されてしまう現状を知りました。そのため、彼らが多様な選択肢の中から自分に合った就職先を選べる社会を実現したいという思いももっています。牧場経営と就労支援、どちらも「働き方の多様性を広げる」という共通のテーマで繋がっており、人の成長や変化を支えることを自分の軸に活動していきたいです。

⑧趣味特技：趣味はゲームをすることで、農場系シミュレーションゲームやサンドボックス系が好きです。

特技はこれと言って無い…ですが、小学生の頃から和太鼓を続けています。

取材：加藤広報副委員長

上川床 真幸さんの後継者

上川床 和真さん(24歳)

西春別推進委員会から
後継者紹介

①令和2年4月

②家が農家だから継ぎました。

③別海町

④本人、父、母、妹、祖父、祖母

⑤オンラインゲーム

⑥自然に囲まれた環境が多く、季節の変化を感じながら仕事ができます。

⑦早起きが大変です。

⑧柔軟な考えを持ち、無理なく続ける。

取材：竹花広報委員

農業委員会活動報告

女性の農業委員会活動推進シンポジウム

開催日：令和8年3月4日
会場：砂防会館(東京都)

各府都県の旗を掲げて集合している様を見て、まず驚きました。現在、全国で農業委員における女性割合は14.4%で、61名の女性の会長が活躍しているとのこと。今回のシンポジウムには、23名の女性の会長、21名の女性の会長職務代理が出席されました。基調講演「人のつながりで拓く農業の未来」では、正解のないこれからの時代は、「言われたことをきちんとこなす」より「変化を感じ、工夫や創造すること」、「トップダウン」ではなく「様々な視点からの率直な対話」が必要であることを説き、多くの共感を呼んでいました。同じく基調講演「女性活躍による地域の活性化」では、農家8戸から始めた直売所がレストランや農産物加工センター、食育体験、収穫体験等を含む農業交流拠点施設まで発展した有限会社シュシュの代表取締役山口氏のお話が面白く、皆さん手を叩いて笑い、熱心に聞いていました。事例報告「地域や世代を越えたネットワークづくり」では、ファシリテーターとして活躍する山形県鶴岡市農業委員会の女性委員3名がファシリテーションで「つながり」や「笑顔」の大切さを伝えて、大きな関心を引き起こしていました。ファシリテーターとは、全員が発言できる会議の進行役のことです。会場内は熱気に包まれ、皆さんが真剣に聞いている様子が感じられました。(事務局)

東北・北海道ブロック女性農業委員研修会

開催日：令和7年12月9日
会場：ホテル札幌サンプラザ

「地域で生きる、地域とつながる～協働ではじまる小さな一歩」をテーマに北海道大学の小林准教授が講演。参加者が直面する課題に対し、効率を優先する現代的な会議とは対極にある「結論を出さない話し合い」を推奨し、目先の解決よりも仲間との課題共有や「つながり」を築く重要性を説いた。1道6県から237名が参加し、グループごとの意見交換を通じて地域における自らの役割や地域活性化への思いを共有しました。

竹花委員

皆さん大変お元気で活発な意見を沢山聞くことが出来ました。岩手県花巻市では、震災で荒れた畑が道路沿いの目立つ場所にあり、そこへひまわりの種を植えたところ、道路の方を向いて咲き、肥料が入るため畑が良くなり野菜を植えて収穫も出来た、という事例が印象深いです。また、田植えから収穫して食べるまで、という他県の食育の事例は、公の職として行っていることに感銘を受けました。秋田県の事例、「母ちゃんが動けば父ちゃんも動く」も心に残りました。

畠山委員

東北・北海道地方の女性委員が一堂に会する研修会とあって、大きな会場は熱気がすごかったです。講演は「協働」についてでしたが、余り聞かない言葉で少し難しかったです。講演の後はグループに分かれて話しをしました。特に東北の委員さんたちはお元気で、農業委員としても普段から精力的に活動しているのがよく分かりました。とても有意義な研修会でした。

豊島委員

女性委員の活力と迫力には仰天しました。ある意味カルチャーショックで、いい経験をしました。

富良野市の委員さんの「女性委員として色んな研修会に参加出来るのが楽しい」という言葉が印象に残りました。

市町村農業委員会活動強化研修会
全道農業者年金研究会開催日：令和7年12月16～17日
会場：北海道第二水産ビル(札幌市)

活動強化研修会は、基調講演「農地転用許可制度とその運用について～地域農業を守る農業委員会の役割」、事例報告「農地転用をめぐる実務と向き合う～営農型太陽光発電に取り組む現場の声から」、農業者年金研究会は、講演「リタイア前後に知っておきたいお金の話」、情勢報告「農業者年金をめぐる情勢と加入状況について」を研修して来ました。

斉藤委員

今回の研修では、農業委員としての見聞を広めることが出来、また、参加した委員同士の交流も出来て有意義でした。

石毛委員

営農型太陽光発電について、よく理解出来た。他の委員と交流を深めることが出来てとても満足しています。

市川委員

営農型太陽光発電と農業法人化について、もっと深く聞きたかったです。

北海道選出国会議員への要請活動

(令和7年11月26日～27日)

11月26日から27日にかけて、令和7年度全国農業委員会会長代表者集会等に併せて、根室地方農業委員会連合会による「地域の実態に即した施策の実現に向けた要請」を北海道選出国会議員へ行いました。

要請先：伊東良孝衆議院議員、鈴木貴子衆議院議員、鈴木宗男参議院議員、篠田奈保子衆議院議員

- 要請内容：
- 1 親元就農者への支援施策について
 - 2 農産物の合理的な費用を考慮した価格形成について
 - 3 農業者年金制度における政策支援対象者の拡大について
 - 4 農地売買等事業予算の確保について



伊東衆議院議員要請



鈴木衆議院議員要請



鈴木参議院議員要請



篠田衆議院議員要請

◆◆◆ 農業委員の素顔 ◆◆◆

中春別地区 伊藤一吉委員

令和7年11月にJAの根室管内副組合長会の道外視察研修の機会を得ました。印象に残った一部を紹介します。

①ホクレン東京支店

私たち酪農家にとって営農支援、生産から販売までを一貫して支えてくれる協働組合組織です。概要説明、意見交換した中で、脱脂粉乳の在庫積み増しが話題となり、主要取引先の一つにヤクルト本社もあり乳酸菌飲料に使われているとのこと。その日の夜はコンビニでヤクルトを買い求め小さな消費をしました（笑）。

②東京証券取引所

金融商品や株式投資に無縁の私は、テレビだけで観る場所と思っていましたが、多くの国内外の投資家が一喜一憂する取引所を目の当たりにして、気分が高揚しました。

③屋形船

その日の夜の会食は人生初となる屋形船で摂りました。品川から隅田川を周遊するコースです。夜のライトアップされたお台場のフジテレビやレインボーブリッジ等、壮観な眺めでした。船内は外国人の顧客を接待する日本企業の団体もあり、英語が飛び交っていました。

④石坂産業株式会社（埼玉県）

地域と共生する主に建設資材のリサイクル、産業廃棄物処理業者を視察させていただきました。機会と手作業により細かく分別して再利用出来る形に変えて、リサイクル率は98%にも及びます。また、協力会社と共に再生後の活用も企画しています。創業以来、幾多の逆境を乗り越え2代目社長・石坂典子氏が目指す「世界一愛される会社」の取り組みが国内外から注目され、高く評価されています。執筆された本を購入して読んでみました。「会社を変えるためには、設備だけではなく社員（人）を変えることが重要」と説いています。職種は違っていても経営論・社員の掌握術等、誰が読んででも共感出来る内容でした。循環、自然保護の観点で地域に根付いて地域貢献の一貫として再生された里山も管理しています。皆さんにも是非見ていただきたい会社です。働き方改革の一考になると思います。

⑤日本新聞博物館（横浜市）

日本新聞協会が運営する新聞の歴史や役割を学び体験出来る博物館です。戦後80年を迎え世界各国の戦争を伝える展示が数多くありました。

受付に販売されていた一冊の本に目が留まり買い求めました。戦争は人間の視点で語られることが多いものですが、多くの動物たちも前線に動員されました。

馬、像、水牛、犬、ラクダ、鳩等々。戦闘に巻き込まれ飢餓で命を絶たれた動物も多かったことを知りました。これからも人間の身勝手な戦争にならぬことを祈るばかりです。



別海地区 石田昌樹委員

農業委員一期目の石田昌樹です。趣味ですが、油絵、ギター（現在クラシックギター）作曲、古い機械修理、木工などがあります。ここ数年は趣味と実益を兼ねてサウナ製作・販売をしています。サウナ製作は大変奥が深く、物理学の集大成とも言えます。いかに少ない薪で長時間楽しめるか、いかに長期間（耐用年数）維持できるかに重点を置き、設計・施工しております。サウナは北海道の気候と相性が良く、特に冬場は寒さで緊張した背中や腰をほぐすのに大変有効です。

サウナは流行ではなく、日常的に必要な文化になりつつあります。現在サウナのあるキャンプ場「Silent forest FuU」を製作しております。今年中のオープンを目指しております。施設内に、販売しているサウナのモデルルームがありますので、興味がある方は試し入浴出来ます。時間無制限、無料です。



塩分が多いのはどっち？

A	B
薄口しょうゆ	濃口しょうゆ
うどん	そば
ちくわ	はんぺん
ケチャップ	マヨネーズ

令和6年国民健康・栄養調査では1日の食塩接種量の平均値は9.6グラムで、ここ12年では最低の数値となりました。減塩を気にする方も増えてきたのでしょうか。

そこで、塩分について、クイズです！！

AとBの食品を同じ量食べた時に、塩分が多く含まれているのはどちらでしょう？

正解は……すべてAです！！

似たような食品でも塩分量には差があります。お買い物で食品を選ぶ際は、パッケージの「塩分相当量」をチェックして減塩を意識してはいかがでしょうか。

令和8年度の健康診査については、広報べつかい4月号又は町ホームページをご覧ください。

問合せ／別海町民保健センター TEL 0153-75-0359

別海町農業委員会委員の募集について

※詳細は町ホームページをご確認ください。

令和8年7月19日で現農業委員の任期が満了することから、農業に関する識見を有し、農地法に基づく売買・賃借の許可や農地の調査などの農業委員会が所管する職務を適切に行うことができる者の募集を行います。



任 期 令和8年7月20日から令和11年7月19日まで（3年間）
募 集 期 間 令和8年4月1日から令和8年4月30日まで
問 合 せ 別海町役場 産業振興部 農政課 TEL 0153-74-9251

広報委員を全うしました！

第25期（令和5年7月20日～令和8年7月19日）の「農業委員会だより」広報委員は、今号で終了です。

12号から今号の17号まで編集を務めた広報委員のコメントを掲載します。

● 広報副委員長 加藤 祐介

広報委員については、農業委員就任最初の総会で山田委員長に「加藤くんやって！」と指名されましたので、これも修行のひとつだろうと思い無心で引き受けました。広報副委員長につきましては、加藤代理が広報委員長でしたので、初日の席抽選前に五十音順で座ったときに、加藤→加藤で横並びになり、そのとき自分が初めてで右も左も分からない中、とても親切にして頂きましたので、そんな加藤代理をお支え出来ればと思い引き受けました。実際、お支えするようなことは無かったですけれど…。それから、この任期中に広報誌が劇的に変わりました！最初の頃の誌面は昔ながらの構成と文面で、はっきり言って読んでもらえないかなあーと思うものでした。最近のは農業委員の顔だけでなく、仕事や人生、趣味、今まで知らなかったことで情報盛り沢山になりました！なんせ面白い！僕は「議会だより」より面白いと誇りに思ってます。後任の広報委員の皆さんにも何かと面白い「農業委員会だより」を引き継ぎ、編集をお願いします。広報委員の皆さん、ありがとうございました！

● 広報委員 竹花 智子

今回広報委員を一期務めました。この間、原稿を依頼した方々には、快く対応して頂き感謝しております。ありがとうございました。

また、同じ期間に広報委員を務めた委員の方々、事務局の方々には親切且つ楽しく教えて頂き、ありがとうございました。

● 広報委員 猿谷 忠義

デジタルデバイス主流で紙媒体に触れる機会も少ない昨今、編集に関わらせて頂き、完成誌を手にとってページを実際にめくことは、やり甲斐と紙の温かみを感じることが出来、良い経験になりました。ありがとうございました。

● 広報委員 岸本 正明

最後まで原稿遅れてすみません。

農業委員活動日記

10月	
16日	現地調査
28日	農地評価会議
30日	第29回農業委員会総会

11月	
4～7日	農地評価会議
10日	現地調査
11日	令和7年度別海町表彰式
20日	第30回農業委員会総会
26日	北海道選出国会議員要請、農業者年金加入推進セミナー
27日	北海道選出国会議員要請、全国農業委員会会長代表者集会

12月	
8日	地区別農業委員等研修会
9日	町議会定例会、東北・北海道ブロック女性農業委員研修会
16日	農業委員会活動強化研修会
17日	全道農業者年金研究会
19日	あっせん会議、別海高校校内実績発表大会及び農家委託実習・インターンシップ報告会
23日	第31回農業委員会総会
26日	あっせん会議

1月	
13日	市町村農業者年金協議会代議員等研修会
20日	あっせん会議
28日	第32回農業委員会総会

2月	
28日	第33回農業委員会総会、別海町農業委員会委員研修会

3月	
4日	女性の農業委員会活動シンポジウム
18日	北海道農業会議総会、農業委員会会長事務局長研修会
24日	第34回農業委員会総会

編集後記

2026年雪は少なく概ね良い天気。初妊牛の価格も爆上がりで始まりました。

どうかこのまま一年を終えられます様に！

（記：広報委員長 加藤 真純）

